

前記第1の円環状部材と前記第2の円環状部材の間に同軸状態に挟まれ、前記第3の受け面が形成された円形内周面を備えた第3の円環状部材とから構成されている複合転がり軸受。

5 9. 請求の範囲第7項において、

前記第1および第2のリテーナは、円周方向に沿って一定の角度間隔で前記第1および第2の転動体を回転自在の状態で保持している保持穴を備えている複合転がり軸受。

10 10. 請求の範囲第7項において、

前記第1のリテーナに形成されている前記第3のリテーナ部分の先端面と、前記第2のリテーナに形成されている前記第3のリテーナ部分の先端面との間に、前記第3の転動体が保持されている複合転がり軸受。

15 11. 請求の範囲第7項において、

前記第1のリテーナに形成されている前記第3のリテーナ部分および前記第2のリテーナに形成されている前記第3のリテーナ部分は着脱可能な状態で相互に連結されており、これらの間には、円周方向に沿って一定の角度間隔で前記第3の転動体を回転自在の状態で保持している保持穴が形成されている複合転がり軸受。

12. 請求の範囲第7において、

前記第1、第2および第3の転動体は円柱状のコロである複合転がり軸受。

要約書

複合転がり軸受 (1) は、外輪 (2) と、この外輪 (2) の両端面の内周側部分 (2 a、2 b) および円形内周面 (2 c) に対して所定間隔 5 で対峙する第1、第2および第3の受け面 (3 a、3 b、3 c) を備えた溝形断面の円環状の内輪 (3) とを有している。外輪 (2) の一方の端面部分 (2 a) と内輪 (3) の第1の受け面 (3 a) の間、および外輪 10 の他方の端面 (2 b) と内輪 (3) の第2の受け面 (3 b) の間には、スラスト軸受用の複数個のコロ (4) が介装され、外輪 (2) の円形内周面 (2 c) と内輪 (3) の第3の受け面 (3 c) の間にはラジアル軸受用の複数個のコロ (5) が介装されている。コロ (5) は、スラスト軸受用のコロ (4) のリテーナ (6、7) の内端に形成したリテナ部分 (8 a、8 a) によって、スラスト方向の位置が規定されている。

図1

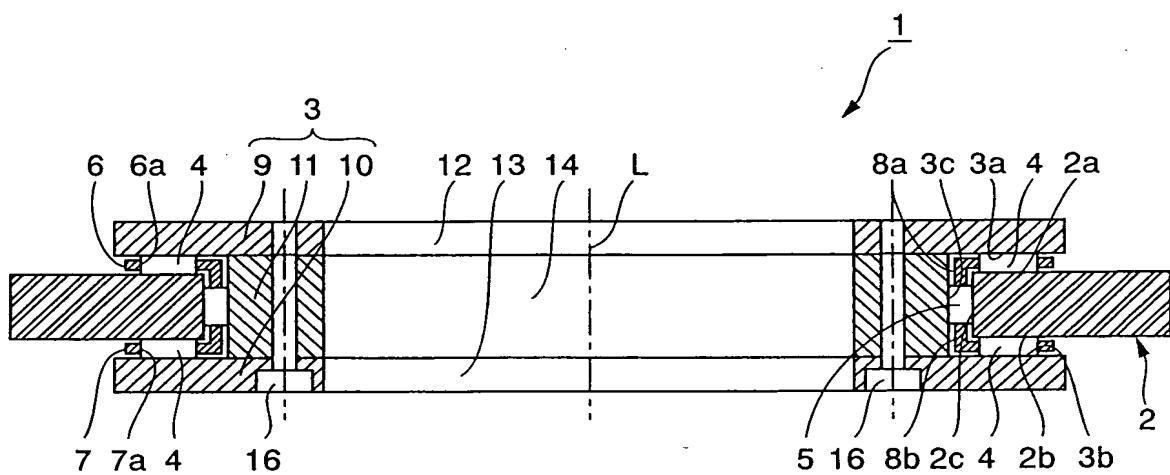


図2

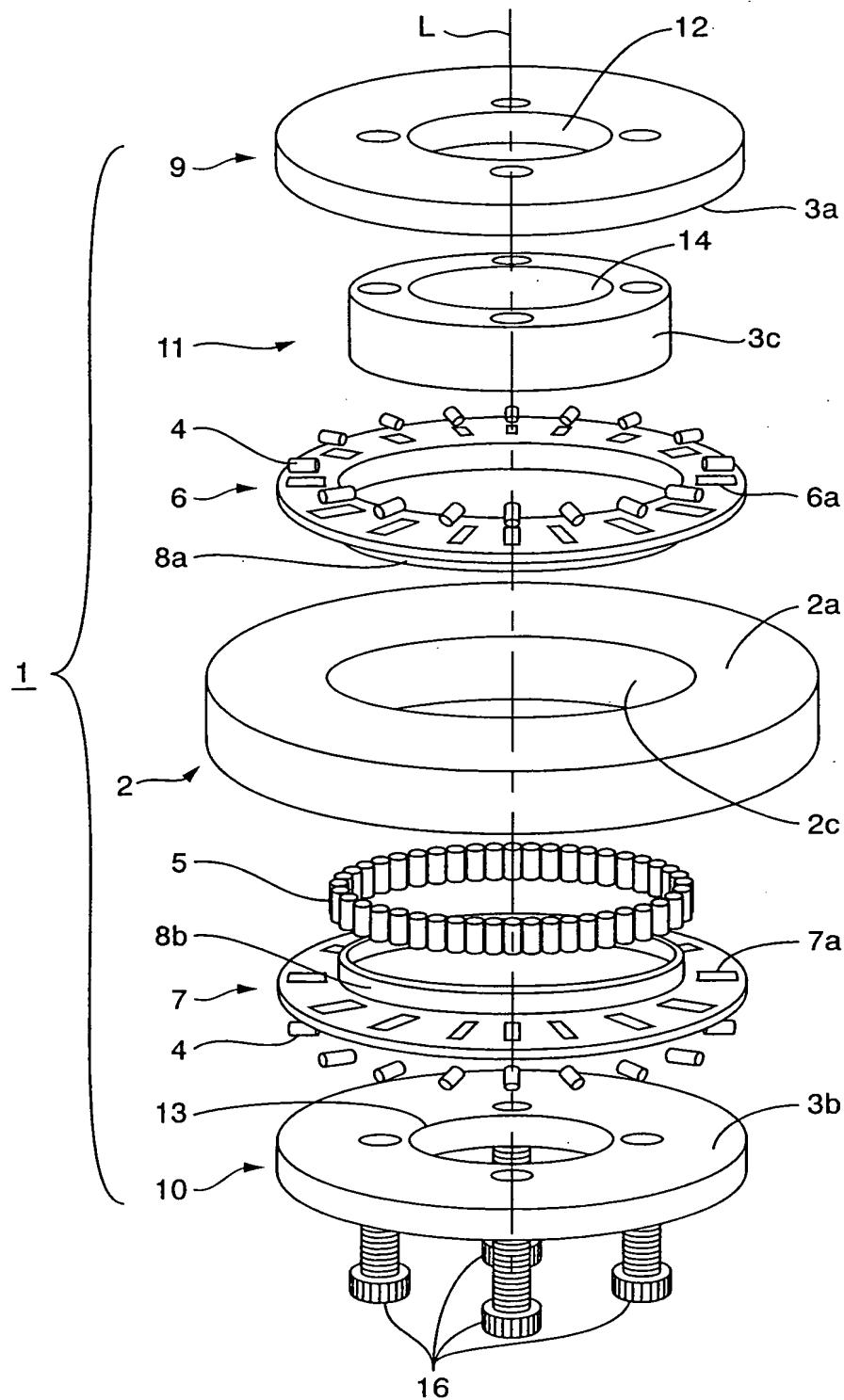


図3

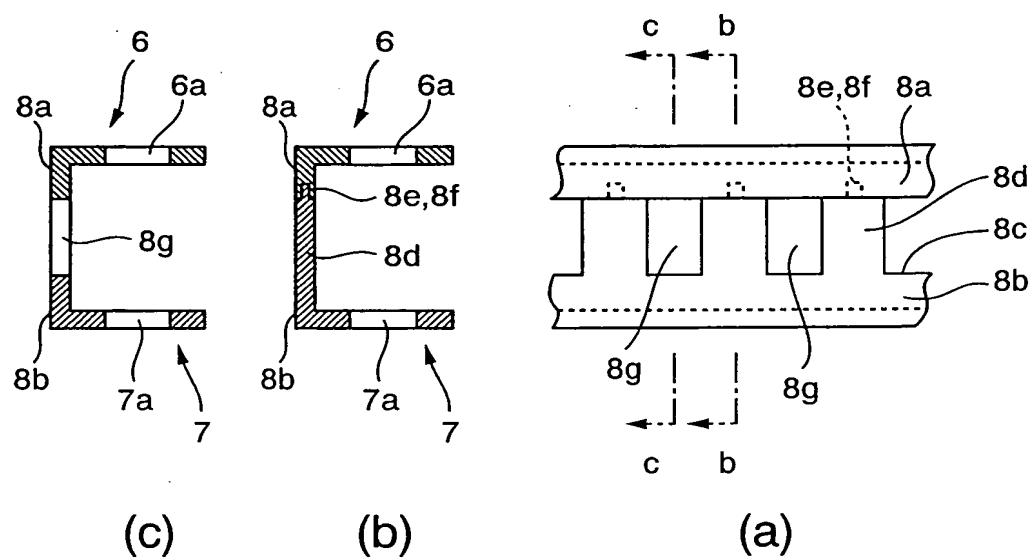


図4

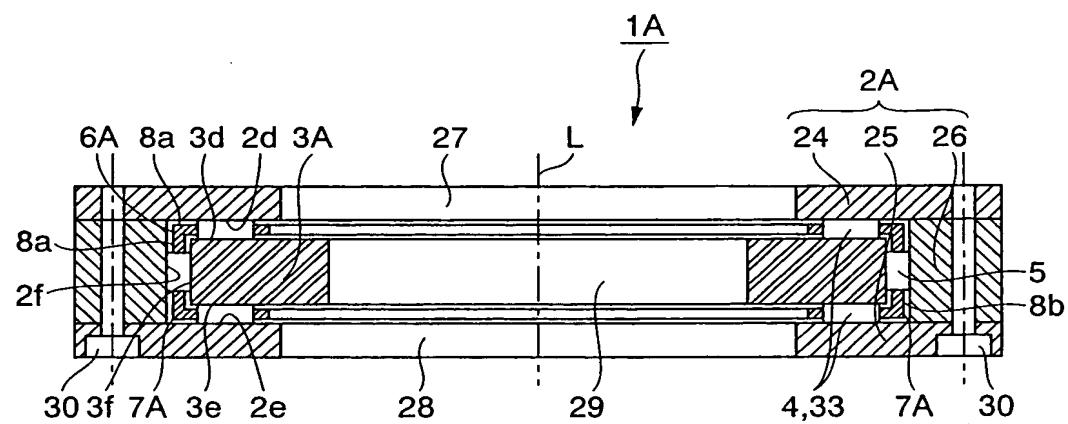
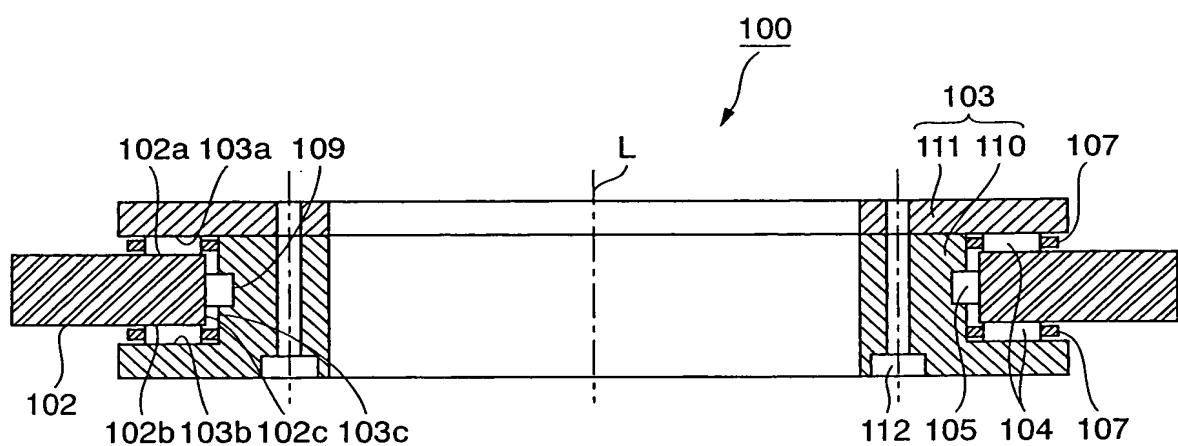


図5



(従来技術)